



気付き・考え・行動する子

西田の丘

杉並区立西田小学校 学校通信

URL:<http://www.suginam-school.ed.jp/nishitashou/>

もくじ

- 巻頭言
- 研究授業(4年)
- 学年のページ(1年)
- 行事予定・ESD 子供報告会
- 西田ニュース
- 生活目標

「鬼は外」でいいのかな？

最も寒い時季に入っていますが、まもなく節分。今年は天体の動きの関係で2月2日です。追い出したい「鬼」は「コロナ」という子供たちも多いでしょう。毎週月曜日の全校朝会では、週の目標を看護当番の教員より伝えています。例年なら挨拶やその季節、学校行事にちなんだ目標が多いのですが、今年度は「手洗い・うがいをしっかりしよう」という目標がすでに10回くらい登場しています。子供たちは登校すると明るい「おはようございます！」の挨拶とともに、校舎に入る前に手洗いやうがいをしています。水が冷たくなり、あかぎれになっている手を見かけることも少なくありません。懸命に感染予防をする姿に、早い収束を願わずにはいられません。

さて、西田小では、ESD（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）の実践をし、「SDGs」の達成に向けて主体的に考え、行動につなげる学習を進めています。ここまでの学校だよりも各学年の児童の学びや意欲的な姿を紹介いたしました。それらの学びを広める場として2月にはESD子供報告会を予定していますが、例年通りとはいかず、実施の方法を検討中です。決まり次第、ご連絡いたします。

「SDGs」という言葉や右のようなロゴを西田小のお知らせ以外でも見かけることが多くなったのではないのでしょうか。このロゴは職員玄関にも貼ってありますし、北校舎の階段にも掲示しています。このSDGsの基本理念、誓いは「誰一人取り残さない」です。

節分の話に戻って、今、社会が追い出したい「鬼」はコロナウイルスや閉塞感なのかもしれませんが、コロナの治療に携わる医療従事者を差別したり、東京から帰省した人や懸命に時間

主幹教諭 濱元 雅俊

を守りつつ営業していた飲食店を排除したりして、追い出そうとした報道に胸が痛みました。「誰一人取り残さない」からはかけ離れた出来事です。追い出すべき「鬼」は、差別や排除をして自分のことだけを考える人間の心なのでしよう。

なぜそんな心の「鬼」は生まれたのか。「鬼滅の刃」のストーリーの軸の一つであるように、鬼にも鬼になった理由があるはずです。私自身も、自宅と西田小の行き帰りに電車とバスを利用しており、子供たちに接する立場として感染してはならないというプレッシャーから、近くで咳をされると「感染したくない。降りてほしい、迷惑だ。」と瞬間的に思うことがありました。しかしこれは決めつけ、そして排除の考えでした。自戒の念も込めて、自分の心と対話して、改めるきっかけとなる豆まきにしたいと思います。

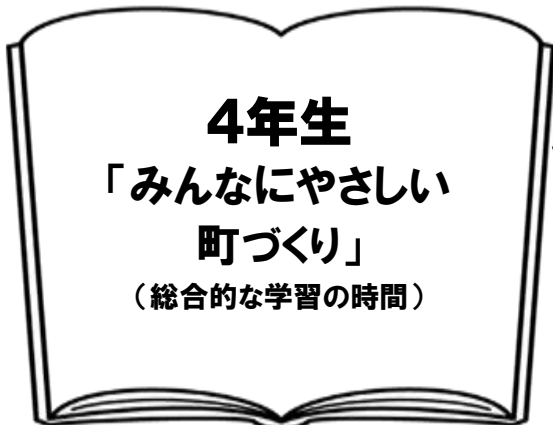
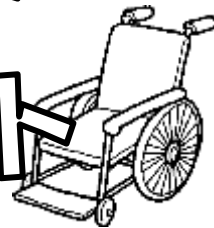
「鬼」は辞書によると怪物とのことですが、もしも人格をもっているととらえるならば、「誰一人取り残さない」のですから、掛け声は「鬼は外」ではなく、「鬼も内」にして鬼と対話をし、共生する方法をさぐる必要があります。排除という理論ではなく、それを対話し、相手の立場で考え、「誰一人取り残さない」よう解決方法を考える。西田小ではそんな力を、あらゆる場面を通じて子供たちに育てていきます。

「西田英語村」をはじめとして西田小ではたくさんの方の保護者や地域の方の協力を得て、子供たちの学びが深まっています。SDGsの目標4「質の高い教育をみんなに」は保護者や地域の方の協力があってこそ実現するものです。今後とも、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



荻窪にニューアル

プロジェクト



みんなにやさしい町って？

荻窪の良い所は、残したいね！

子供たちが考えた「みんな」とは…大人、子供、お年寄り、車いすを利用している方、目の不自由な方、耳の不自由な方、妊婦さん、盲導犬 など

図画工作科分科会では、総合的な学習の時間の福祉学習と関連付けて、授業づくりを行いました。子供たちは、荻窪の町をもっと「みんなにやさしい町」にするために、あったらいいなと思う場所や施設、設備を考え、ミニチュア模型を楽しみながら作っていました。



目の不自由な方が歩きやすいように
点字ブロックを作ろう。



作ったミニチュア模型の中を、車いすを利用している人、目の不自由な人など様々な立場の人を模した人形を使って歩かせることで、自分たちの施設を見直しました。



点字ブロックが
あすぎて、車い
すが通れない
ね。

松溪公園のオブジェは残したいね。
でも白杖がぶつかるなあ。



大田黒公園の木は、本物の木の
枝と、花紙を使って表したよ！

「目が見えない人が楽しめる公園にしよう！」「AI を使って困っている人をサポートしよう！」など、子供たちは自分たちの町が「みんな」として住みやすい町になるように、様々な願いを込めて一生懸命考えました。緑のある公園にするために絵の具だけでなく、花紙をちぎって貼って芝生を表したり、実際の荻窪駅の建物をイメージし、大きさの違う箱を用意してバランスを考えながら組み立てたりして作りました。伝えたい思いを表現することの大変さを学ぶと同時に、仲間と相談し協力し合えばより良いものが作れるのだと実感できる学習となりました。

授業の
振り返り
(教員から)

4年3組担任
松本 憲太



昔遊び名人になろう！！

高く上げない方が上手くいくよ！
リズムに乗って、膝を曲げたり伸ばしたり・・・。



コマの紐を巻くのが難しいな・・・。



この技、どうやってやるの??
教えてほしいな。



走れ、走れ！！糸を伸ばしたら、
凧が高く揚がったよ！！

生活科で昔からある日本の遊びについて学習しました。西田小同窓会の皆さんから、遊び方や成功させるコツを教えてくださいました。最初は上手くいかなくても、励ましの言葉をもらいながら、諦めずに何度もチャレンジしていました。上手にできたときは、たくさん褒めてもらい、とても満足そうな顔をしていました。遊ぶ前に手を洗う、使ったおもちゃを消毒するなど、感染予防に努めながら、活動に取り組みました。



こう持ってね。

ひざが大事なのか。
お皿に乗せたいな・・・。



ありがとうございました。
とっても楽しかったです！！

2月の行事予定

.....【節分】2月2日.....
 節分とは、季節の変わり目のこと。節分の翌日は「立春」、つまり春の始まりです。鬼に豆をぶつけることにより、邪気を払い、1年間病気をせず元気に過ごせるよう願います。かけ声は「福は内、鬼は外」!

- 1日(月) A6時程 全校朝会 安全指導
- 2日(火) 新1年生保護者会 1年生 A4時程
- 3日(水) B5時程 セーフティ教室(1.2.3) PUT
- 5日(金) セーフティ教室(薬物乱用教室6年)
- 6日(土) A3時程 土曜授業(公開なし)
- 8日(月) 全校朝会 クラブ見学
- 10日(水) B5時程 PUT セーフティ教室(4.5.6)
- 11日(木) 建国記念の日
- 12日(金) 避難訓練
- 15日(月) A6時程 全校朝会
- 16日(火) 理科出前授業(4)
- 17日(水) B5時程 PUT
- 18日(木) 児童集会
- 20日(土) A3時程 土曜授業(公開なし)
- 22日(月) A6時程 全校朝会
- 23日(火) 天皇誕生日
- 24日(水) B5時程 PUT

NEXT MONTH

3学期の保護者会 1・2年：3月9日(火) 3・4年：3月2日(火) 5・6年：3月8日(月)

ESD子供報告会

本校はユネスコスクールとして、児童が学んできたことを報告する「ESD 子供報告会」を毎年実施してきました。今年度は、現在の状況を考慮して、この報告会は、動画の形で記録することとしました。児童相互の学び合いの場であるとともに、発表することで自己肯定感を高めたり、来年度の学びに意欲をもたせたりするねらいがあります。動画視聴の方法は、ただ今、検討中です。

*日時：令和3年 2月下旬ごろより
 *場所：詳細は後日、お知らせします。

○ 各学年の発表内容 と会場

- ◆第1学年 「しぜんとなかよし」
- ◆第2学年 「西田の町の宝物」
- ◆第3学年 「しぜんとともにくらそう」
- ◆第4学年 「みんなにやさしい町づくり」
- ◆第5学年 「世界を見直して環境を考えよう」
- ◆第6学年 「世界に向けて羽ばたこう」

西田ニュース NISHITA NEWS

■オンライン始業式

1月7日(木) 3学期の始業式を行いました。感染拡大防止のため、Teams を使ったオンラインによって行いました。緊急事態宣言があり、様々な活動が制限されますが、感染予防対策を行いながら、できることに取り組んでいきます。

■オンラインホームルーム

1月23日(土)にオンラインホームルーム(テスト)を行いました。保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力をいただき、ありがとうございました。今年度始めに行った休校措置を受け、今後、そうなった時にでも、子供たちと連絡を取るために必要な取組です。今回、保護者の皆様からいただいたご意見をもとに、よりスムーズに行えるように改善していきたいと思っております。

■地域班編成

2月24日に予定していた、地域班編成は、異学年の参集を避けるため、中止と致します。

学校運営協議会報告

2月8日の学校運営協議会では、本年度の教育調査並びに本校独自アンケートの結果について検討し、より良い学校づくりについて話し合います。出された意見を基に、来年度の指導体制にも生かしていきたいと考えています。教育調査等の結果については、後日保護者の皆様にもお知らせいたします。昨年度より ESD 子供報告会の後に開催していた「NISHITA 未来の学校：大人も子供も一緒に考えよう」は、学校運営協議会と学校との協同プログラムとして、3月末日にオンラインで行う予定です。

◎3学期の生活目標

人のために役立つことをしよう

○2月の生活目標

相手のことを考えて行動しよう

生活指導主任 折笠 悦子

「相手のことを考える」ことは、学校生活において、欠かせない大切なことです。相手の目を見て、「ありがとう」や「ごめんなさい」をはっきりと言うこと、困っている友達に声をかけたり手を貸したりすること、みんなのためにすすんで働くこと、その場に合った言葉づかいをすることなどが、相手のことを考えた行動として挙げられます。

相手のことを考えて行動すれば、その気持ちが相手に伝わります。よいことをすると、やがて巡り巡ってまた自分にもよいことがあるということわざもあります。どんどん素敵な輪が広がっていきます。そんな輪が広がる西田小学校を目指していきたいと思っております。